

令和5年度 第2回 函南町立図書館協議会 議事録

1 日 時 令和5年11月15日(水) 午後3時30分～午後5時10分  
2 会 場 かなみ知恵の和館 2階 研修室  
3 出席者 会長 石田 和久 学識経験者  
委員 土屋 貴俊 学校教育関係者  
委員 富永 和彦 社会教育関係者  
委員 佐藤 泰博 社会教育関係者  
委員 杉山 恵子 学識経験者  
委員 山崎 海淳 学校教育関係者  
事務局 飯島 美貴 生涯学習課課長  
渡邊美奈子 函南町立図書館館長  
牧野 満枝 生涯学習課(図書館)主事

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人の数 1人

6 内容

(1) 開会

(2) あいさつ 飯島生涯学習課長

(3) 協議事項 (1) 第四次函南町子どもの読書活動推進計画について  
(2) その他図書館事業全般について

(1)第四次函南町子どもの読書活動の推進計画について

事務局 町内の子どもを対象に実施したアンケート結果をもとに素案①を作成し、それに対し各関係機関への意見聴取を実施した。いただいた意見を踏まえ、素案②を作成したため、それに対しご意見をお願いしたい。

各委員から出されたご意見

基本方針1 成長過程に合わせた読書活動の推進について

委員 基本方針ごとに具体的な取組をわかりやすくまとめていると思う。  
基本方針が3つあり、SDGsの指標を取り入れた計画となっている。それは、町の総合計画とも整合性を図っている。継続される事業と一部変更事業については、引き続き充実させながら実施していく方向で取り組んでいってほしい。

委員 図書館見学については、見学会後も子どもたちが保護者と一緒に利用できるように繋げて行けるのが理想だと思うので、工夫してほしい。

委員 幼稚園・こども園・保育園の図書館見学会の実施については、親子での参加、子どもだけの参加、どちらも良い面とそうでない面がある。子どもだけの場合は、子どもの自主性を育むことができるのは利点である。しかし、借りて満足で終わってしまうことも見られる。保護者にも借りた本について話す時間が持てるようになるのもよい。見学だけで終わってしまうのではなく読書のきっかけづくりにつなげていけるよう、子どもが保護者に伝えやすいような方法を取り入れたらどうか。

委員 例えば、図書館見学で借りた本の冊数をメモして渡してあげるとか、借りた本の絵を描いて見せるなどを取り入れると家族にも伝わりやすいのではないかと。

事務局 コロナにより図書館利用が制限された経験を活かし、図書館見学の方法は臨機応変に対応していく。

委員 ブックリストを1人1台端末へデータ提供とあるが、データサイズの問題もある。どの程度の内容か。

事務局 ブックリストは、赤ちゃん用、幼児用、小学校低学年用、小学校高学年用とあり、小学生用は学校司書にも協力してもらい作成している。こちらのカラー版をPDF化したものを想定している。

- 委員 ブックリストや図書館だよりを1人1台端末から閲覧できるようになると、子どもたちに情報が伝わりやすい。データサイズも問題なさそうである。図書館だよりでイベント情報もわかるため、紙でもらってなくしてしまうより利点があると思う。
- 委員 ブックリストは図書館や学校の司書の選書により作成してあるということであるが、このリストを紙で見るかネットで見るか、いずれにしても見られる機会や方法がたくさんあることで触れる機会が多くなるのはいいことである。
- 委員 ブックリストは適齢学年毎に作成されているので、学年が上がれば新しい本に触れるように選書しているわけだから、このままでもいいし追加見直しを行い継続してけばいいと思う。
- 委員 ブックリストを園などに配架してもよいと思う。また、入園や入学時に配布したり、保護者会で学校に来る保護者も展示物を熱心に見ていかれる方もいるので、各園・学校へ配架すると目に触れる機会が増える。
- 委員 子どもたちが、書物で調べることが図書館でできるという体験をにぜひ大切にしていってほしい。ネットで調べたことがあやふやなこともあったりするので書物での調べ学習は大切である。
- 委員 歴史などは色々な説もあり、ネット検索だけでは不十分なこともあるので、書物で調べる姿勢を持っていないと本当に知りたいことに行きつかない場合もある。

#### 基本方針2 子どもの読書活動を支える環境整備

- 委員 電子書籍については、先進的な取組を行っているところを参考にし、研究して取り入れていけるところは取り入れていくべき。
- 委員 肢体不自由の子どもたちが家庭で電子書籍を借りることができれば、読書する機会は広がる。支援学校にも情報発信ができるとよい。また、図書館の活動を広報かんなども利用して広げてほしい。
- 委員 特別な支援を必要とする子どもたちへの読書環境整備については、読書バリアフリー法により進めていかなければならないと思う。視聴覚障害者だけでなく、より多くの人たちが利用できるようにする必要がある。
- 委員 函南町の図書館には、大型絵本や外国語の絵本など支援学級で必要とする絵本なども揃っており、近隣の方たちも利便性が高いと感じている。
- 事務局 電子書籍については、研究課題として今後も取り組んでいく。最新の取組や他館の動向を注視し、再度、検討を進めていく。

#### 基本方針3 町ぐるみの読書の普及啓発

- 委員 各課連携はぜひやっていただきたい。行政間の協力は大切である。
- 委員 読書記録ノートは紙とデジタルと両方ある。学校では、子どもの様子を見ながら、使い分けしている。
- 委員 電子申請で回収できるようになったとのことで、講座等で出された意見は、今後ぜひ活かしていただきたい。

#### 努力目標について

- 事務局 前回の計画で、目標を達成できなかったものについては、再度挑戦していく。また、目標が達成できた項目については、より数値を上げて取り組んでいくように設定した。

#### (2)その他、図書館事業全般について

特に意見なし